

図書館部報

岡崎市現職研修委員会
学校図書館部
令和元年9月30日
No. 2



豊かな心と見極める力を！

現職研修委員会学校図書館部部長
常磐東小学校 校長 近藤 嗣郎

先日、妻と旅行をした際、楽しみの一つに「夕食は地元の有名なラーメン屋」と決めていました。事前に雑誌やネットで調べ、宿から30分ほどかけていくと、長蛇の列ができていました。店は建物の2階にあり、階段からずっと1階の道路まで人があふれていました。1時間以上はかかると思い、躊躇しましたが、他店への考えはなく、その列に加わりました。その後も、多くの人が訪れましたが、半数は列を見て去っていきました。



並んで20分ほどしたころ、アジア系の4人の家族が現れ、私の前を平気で通りすぎました。さらに行列の横をぐんぐん進み、列の真ん中辺りにいる仲間と会話をしながらその中に割り込んでしまいました。(思った通りだ。外国人はマナーが悪い。日本人ならそんなことは恥ずかしくて絶対しない)私は、割り込みをしたその外国人のマナーの悪さにひどく気分を害しました。

1時間を過ぎたころ、私は2階の店の入口に近づき、眼下にはずっと歩道まで続いていく行列を見ることができました。しばらくして、メニューを渡され、ラーメンの種類等を考えていると、列の下の方がざわざわしていました。その原因はすぐに分かりました。若い男女二人が長い列の横を上ってきたのです。その男女は、私たちの前をすり抜けると、すぐ前にいた日本人の二人連れのところに来て、「間に合った!」「よく間に合ったね!」と談笑し、ハグしあっていたのです。あまりの大胆さに驚き、怒りさえ感じました。私が何かを言おうとした瞬間、妻に遮られました。旅先でのトラブルを嫌ったのです。その後、日本人の四人組は店の中に消えていきました。

「外国人はマナーが悪い。日本人なら割り込みなどは、恥ずかしくて絶対しない。」と思った自分が恥ずかしくなりました。口では偏見を嫌っていたのですが、無意識に外国の人に対して偏見をもっていたのです。自分に対しても残念で暗い気持ちになりました。

長い時間並んだ評判のラーメンは、嫌な思いが混ざり、満足のいく味ではありませんでした。私も含め、いろいろな場面で偏見が見られます。国籍や人種に関する以外に、宗教や思想、年齢や性別、職種や資産、読み物や食べ物、趣味や考え方に至るまで……。そして、それが、場合によって、いじめや差別、さらに国と国との戦争につながることもさえないのです。

最近、某有名雑誌の特集の見出しには、「○△なんて要らない」とある国を批判し、その国の「10人に1人は(精神障害の)治療が必要」とまで記事に記載されていたのです。いくら民主主義の世の中で「言論の自由」が保障されているとはいえ、どんな表現をしてもいいというわけではありません。こうした過激な見出しの原因の一つは、出版物の販売不振だと言われています。ネットに押され、売り上げが一時期の半分に激減し、過激な話題で復活を図っているのです。しかし、それだけではなく、社会全体がそれを許容する風潮があるのではないかと私は思います。

今、世の中にはフェイクニュースが戦略として、人々の世論を動かしています。かつて日本も、情報操作によって人々を扇動し戦争に向かわせていました。私たちは、偏見をもたず、広い視野で情報を見極めなければなりません。そして、未来を担う子供たちにも、情報を精選して何が正しいのか見極める力と柔軟で豊かな心を培いたいと思っています。



～授業力・教師力アップセミナー（基礎編）～

7月30日（火）に、授業力・教師力アップセミナー（基礎編）が南中学校図書室で行われました。今年度は、学校図書館に関わる先生方と教員補助者の方々と合わせて60名ほどが熱心に研修に励みました。

研修①では、岡崎市立中央図書館から天野幸枝様、磯谷美智子様を、研修②では南中学校で図書館運営に携わって見える教員補助の鑑廣みどり様をお迎えして学校司書の役割や、学校図書館の運営方法の工夫などを教えていただきました。たくさんの教員補助の方々が積極的に参加してくださり、普段同じ現場で働いていてもなかなか意思の疎通ができず、お互いに困っていた部分を共有することができ、とても有意義な研修となりました。また、南中学校の図書館内の展示を実際に見ることができたこともとても好評でした。

研修① 司書の仕事について知ろう

「図書館司書」の方々がどんな仕事しているのか教えていただきました。岡崎市立中央図書館にあるたくさんの本を種類別に配架すること、多くの方に本を楽しんでもらえるように工夫をしていることを知りました。また、著作権についても学びました。学校の授業の中で使いたいと思われる本を貸し出しているのでぜひ利用してほしいとのことでした。読書の秋、岡崎市立中央図書館に気軽に足を運んで、たくさんの本に親しんでみようと思いました。



<講師の話熱心に聞く参加者>

参加者の声

- 著作権のことは知っているようで、知らなかったことばかり。運営していくうえで必要なことを学ぶことができ、とてもためになりました。
- テーマを設定して本を集めることによって、普段目にできない本を提供するなど工夫して本の世界を広げられることがわかった。



<南中学校図書館の工夫された展示>

研修② 学校図書館の在り方

「学校司書さんがいたらなあ」と思われている学校は、まだたくさんあるのではないのでしょうか？学校の図書館にある多くの本を管理するのは現場で働く私たちにとってはなかなか難しいものです。子供たちが図書館で調べ学習をしたり、読書をしたりしやすいように本がきちんと並べられている南中の図書館を見てとてもうらやましかったです。少しでも見習おうと本の並べ方を写真に撮っている方が多くみられました。

参加者の声

- 鑑廣先生の本との出会いや本、図書館に対する情熱に感銘を受けました。生徒が来やすい空間、手に取りやすい本、本と出会わせる仕組み、生かしていきたいです。
- 具体的な活動内容を教えていただいて、とても参考になりました。

《お知らせ》

◎ 市教研大会の学校図書館分科会での発表を受け、福永えりな先生（根石小）、石川俊之先生（翔南中）が県教研の正会員に決まりました。ご活躍を期待します。